

目標③ 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。

次の【資料】を読んで、あなたはどのように考えますか。あとの【条件】にしたがって書きなさい。

【資料】

プラスチックは、我々の生活に利便性と恩恵をもたらしている有用な物質である。他方で、海洋に流出すると長期間にわたり環境中にとどまることとなる。

現在、世界全体で年間数百万トンを超えるプラスチックごみが海洋に流出していると推計されている。このため、海洋プラスチックごみによる地球規模での環境汚染による生態系、生活環境、漁業、観光等への悪影響が懸念^(注1)され、国連をはじめとする様々な国際会議において、重要かつ喫緊^(注2)の課題として議論が行われている。持続可能な開発目標(SDGs)においても、目標14において、「あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する」とされている。

こうした問題の解決のためには、プラスチックが社会と持続可能性に対して果たす重要な役割を認識しつつ、海洋プラスチックごみの流出防止に世界全体で連携して取り組む必要がある。重要なことは、プラスチックごみの海への流出をいかに抑えるかであり、経済活動を制約する必要はなく、二〇一九年のG20の議長国である日本としては、新興国^(注3)も含め、G20としての海洋プラスチックごみ問題への対策が効果的に促進されるよう取り組んでいく。

それとともに、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の考え方に基づき、国内の法制度を整え、技術を磨き、循環型社会を築いてきた我が国としては、プラスチック資源循環を徹底することとはもとより、世界に先駆けて実効的な海洋プラスチックごみ対策を実施し、我が国のベストプラクティス(経験知見・技術)を国際的に発信・展開することで、世界をリードしていく必要がある。

〔中略〕

現在、我が国からの海洋プラスチックごみの流出量は年間二〜六万トンと推計されている。国民生活や事業活動に伴い陸域で発生したプラスチックごみの一部が、廃棄物処理制度により回収されず、意図的・非意図的に環境中に排出され、雨や風に流され、河川その他の公共の水域等を経由して海域に流出することや、漁業、マリレジャー等において海域で使用されるプラスチック製品が直接海域に流出することにより、発生している。したがって、海洋へのプラスチックごみの流出を効果的に削減していくためには、海岸地域だけでなく内陸部も含めすべての地域における共通の課題であるとの認識に立って、家庭、事業所、市街地、農地、河川、漁場等のあらゆる場所において、国民、事業者、民間団体、国、地方公共団体等すべての者が当事者意識を持って、真摯^(注4)に対策に取り組んでいくことが求められる。

海洋プラスチックごみ対策の推進に関する関係閣僚会議

「海洋プラスチックごみ対策アクションプラン」による

《解答例》

プラスチックは、私たちの生活にとって、とても便利なものである。しかし、プラスチックごみが海に流出してしまうと、生態系や生活環境等への悪影響が心配される。

私は、プラスチックごみを減らすことが大切だと思う。そこで、レジ袋やストローを問わずに、マイバックやマイボトルを持ち歩き、プラスチックごみを少しでも減らしたい。

《評価のポイント》

○ 第一段落において【資料】から読み取った内容を書いており、かつ、第二段落において、【資料】の内容についての自分の考えを適切に書いている。

× 無解答、または、不適切な内容であるか、百五十字以上、百八十字以内で書いていない。